

緊急プラン(素案)

平成 21 年度当初予算反映版

平成 21 年(2009 年)6 月

もくじ

1 . 緊急プランの背景	2
(1)箕面市の財政を取りまく状況	
(2)平成 20 年 11 月の財政見通し	
2 . 平成 21 年度予算の成果と最新の目標値	4
(1)今後 4 年間の改革目標値	
(2)平成 21 年度の改革成果	
(3)経常収支比率の改善	
(4)基金投入額の抑制	
3 . 平成 21 年度改革成果の内訳	6
4 . ゼロ試算 ver.2 の議論に向けて	8
【参考資料】	9

箕面市緊急プラン（素案）について

箕面市では、子ども達の未来に負担を先送りしないため、基金に依存する硬直化した財政状況を打破し、愛すべきまち箕面を次世代の子ども達に引き継ぎ、持続可能な魅力あるまちづくりを実現していくことを目指し、平成20年12月「箕面市緊急プラン（素案）」を策定しました。「箕面市緊急プラン（素案）」は、平成25年度に財源不足を解消し、基金依存体質から脱却するとともに、当初予算において経常収支比率100%以下に抑えることを目標としました。

「箕面市緊急プラン（素案）」の目標達成のために、副市長をリーダーとする「箕面市改革特命チーム“ゼロ”」を設置し、900余りの事業を総点検し、市の裁量により改革が可能な事業、税金の使い道としてしっかりと議論をしておくべき事業など87項目を改革項目とする「ゼロ試案」を策定しました。

「ゼロ試案」は、あくまでも「チームの試案」として策定し、策定に当たっては、あえて市長の公約や政策的判断はもとより、過去からの経緯、関係団体の意向などを踏襲せず、可能な限りニュートラルな観点から策定しました。

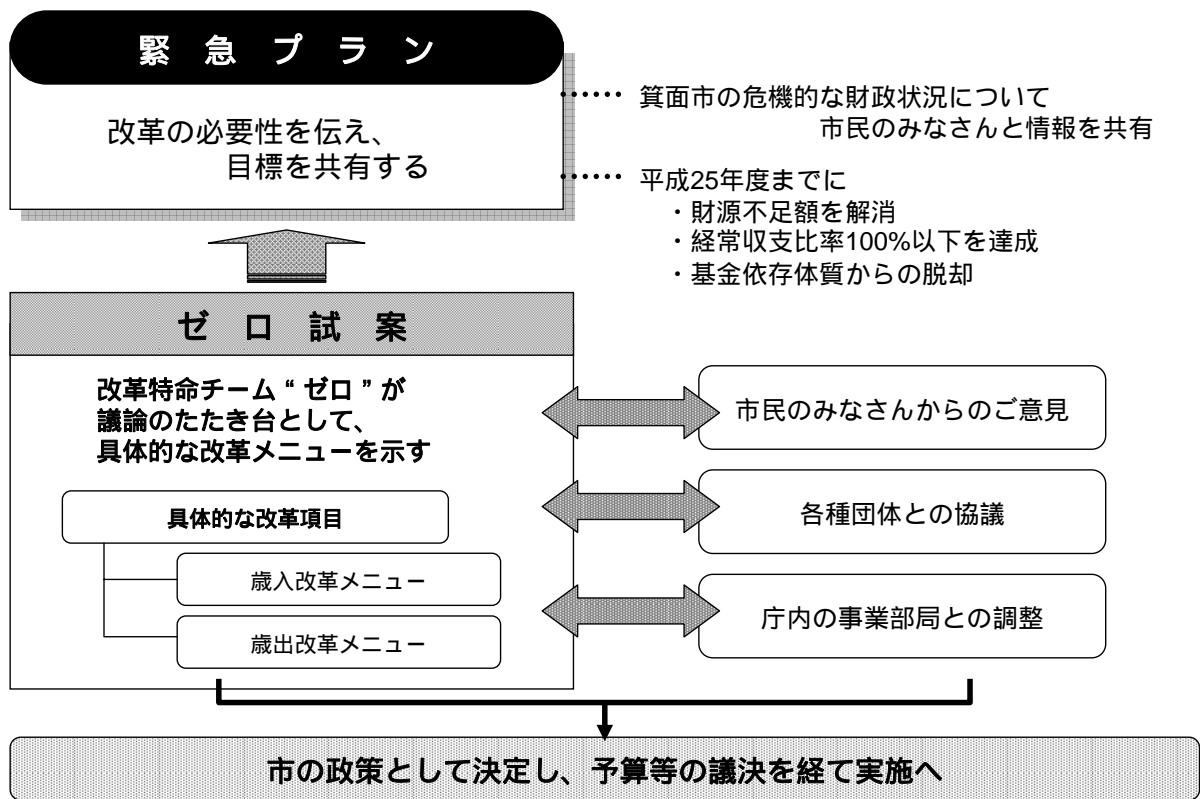
昨年12月「箕面市緊急プラン（素案）」・「ゼロ試案」の公表以降、各方面での議論や様々な視点からいただいた多数のご意見を踏まえ、慎重にその実施の可否を検討し、政策的判断を行った上で平成21年度当初予算編成が行われました。なお、「ゼロ試案」において平成21年度改革項目となっていたもののうち、例えば、保育所保育料については、引き上げだけでなく、政策的な負担軽減策などの検討を行うため、また、障害者福祉作業所等への補助金については、持続可能な制度への再構築の検討を行うため、平成21年度の実施を見送り、平成22年度当初予算における見直しを目指すこととしました。

今回、「箕面市緊急プラン（素案）」・「ゼロ試案」について、平成21年度当初予算を反映し、修正を行ったものを「ゼロ試案 Ver.2」として作成しました。これは、平成21年度に実施した改革項目や実施を見送った項目の反映にとどめており、新たな改革項目の追加や既存項目の削除は行っていません。今後、「ゼロ試案 Ver.2」を引き継いだ形の「ゼロ試案 Ver.3」については、市民の皆さまから寄せられたご意見等を参考に、新たな改革項目の検討や代替案を含めた改革項目の見直しを行いながら作成していきます。

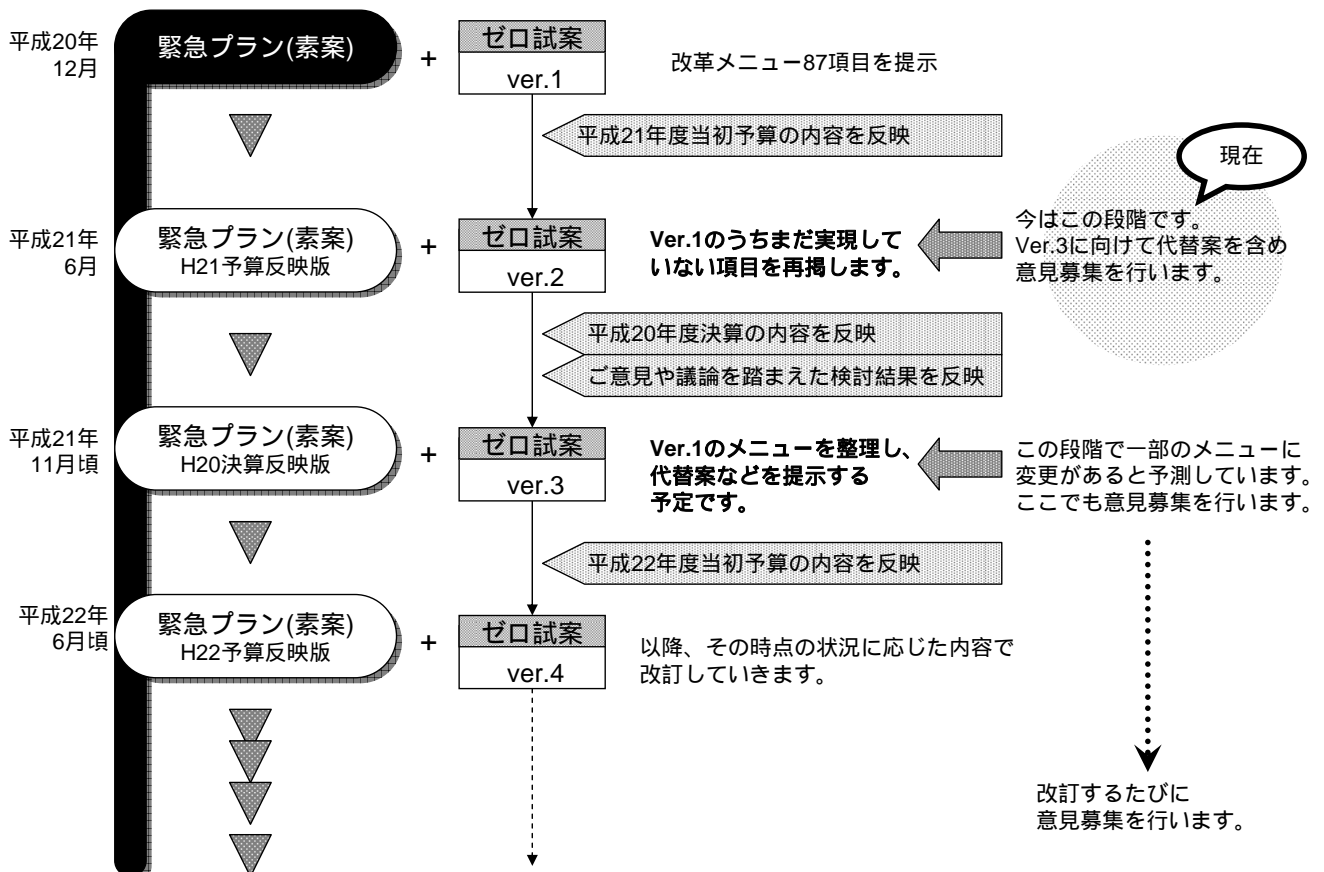
今後も、「ゼロ試案」をたたき台として、よりよい箕面の未来に向けて、様々な議論を積み重ね、庁内での検討と政策的判断を経て、条例・予算（案）等を通じて市議会に提案し、改革内容を決定・実施していきます。そのため、「箕面市緊急プラン（素案）」・「ゼロ試案」については、その都度、時点修正を行い議論を重ねていきます。

平成21年（2009年）6月
箕面市改革特命チーム“ゼロ”

● 緊急プランとゼロ試算



● 緊急プランとゼロ試算の改訂



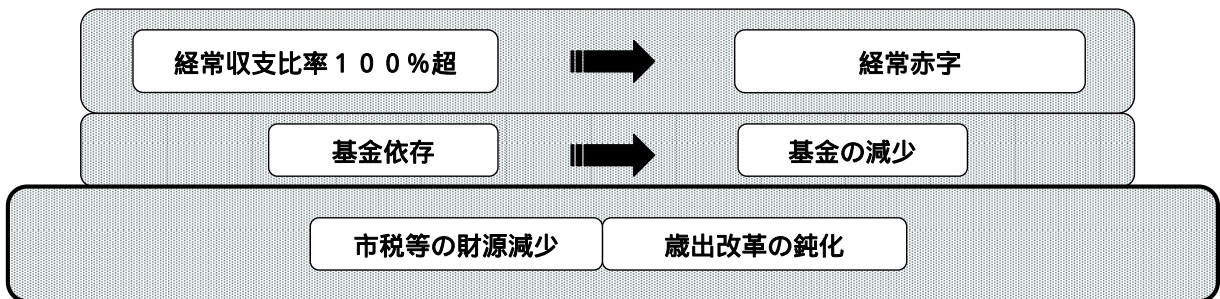
1. 緊急プランの背景

めざす箕面の未来は・・・

子育てしやすさ日本一！
 安心・支えあい最優先！
 緑・住みやすさ最先端！



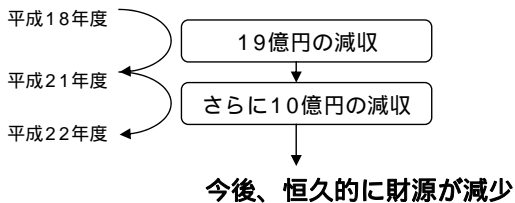
支えるべき財政の現状は・・・



(1) 箕面市の財政を取りまく状況

恒久的な財源不足

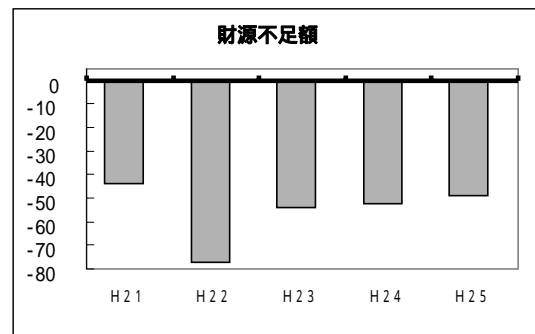
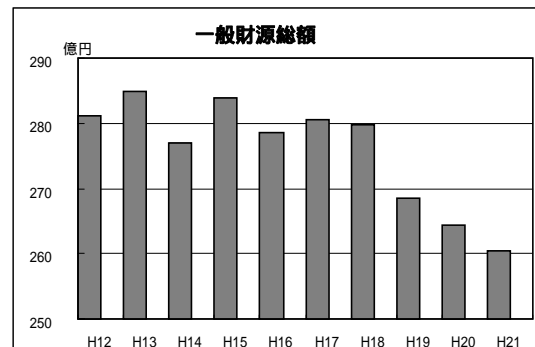
- 三位一体改革の本格実施等
 - 所得譲与税の廃止
 - 減税補てん地方特例交付金・減税補てん債の廃止
- 臨時財政対策債の廃止(平成22年度予定) などにより



基金に依存した財政構造

平成19年度決算は、財政健全化4指標については問題ないが、年度間の財源調整を行う財政調整基金の繰入がなければ

実質2億円赤字 → さらに基金に依存しなければ毎年50億円の赤字見込み

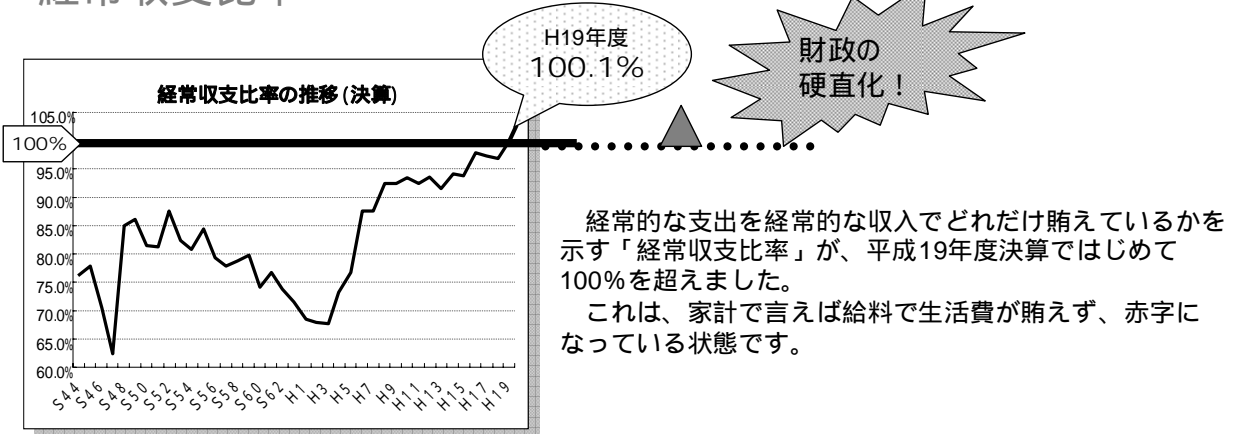


緊急に止血しなければならない状況

(2) 平成20年11月の財政見通し (緊急プラン(素案)作成の背景)

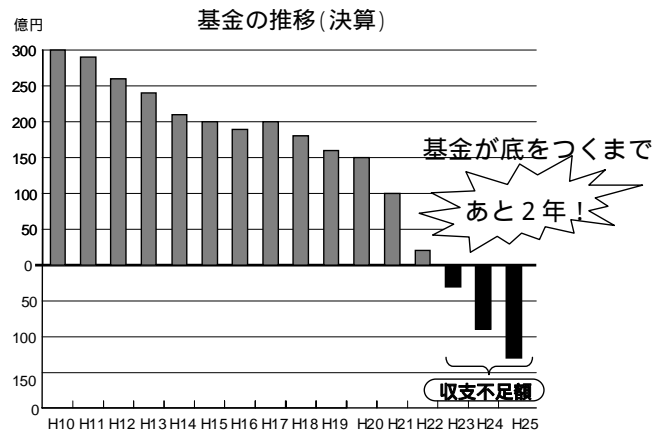
平成20年11月に今後5年間の財政見通しを試算したところ、次のような結果になりました。

経常収支比率



基金の状況

これまでどおりの制度が続き、今までと同じように支出が続けば、平成22年度には基金(市の貯金)が底をつくと見込まれました。



財源不足額の試算

平成25年度まで、毎年度の財源不足額を試算したところ、5年間累計で273億円もの財源不足となり、毎年度の経常的な支出が収入を20億円規模でオーバーすることがわかりました。

	H21	H22	H23	H24	H25	累計
財源不足額	43億円	74億円	55億円	52億円	49億円	273億円
経常収支比率	109.2%	111.6%	110.5%	110.0%	108.4%	

毎年経常的な支出が収入を約20億円規模でオーバー

(数字は平成20年11月現在)

緊急プラン

そこで、緊急プラン(素案)を作成し、次の目標を設定しました。

平成25年度
までに

財源不足額を解消

経常収支比率100%以下を達成

基金依存体質からの脱却

2. 平成21年度予算の成果と最新の目標値

(1) 今後4年間の改革目標値

最初の目標

- 今後5年間で総額273億円の財源不足を解消
- 経常的な支出水準を年間約20億円規模で圧縮



平成21年度予算の成果

財源不足を149億円*解消

経常的な支出を約10億円圧縮

* 歳入歳出改革の効果額134.5億円 + 予算編成段階での財政改善分14.4億円（基金投入含む）

今後の目標

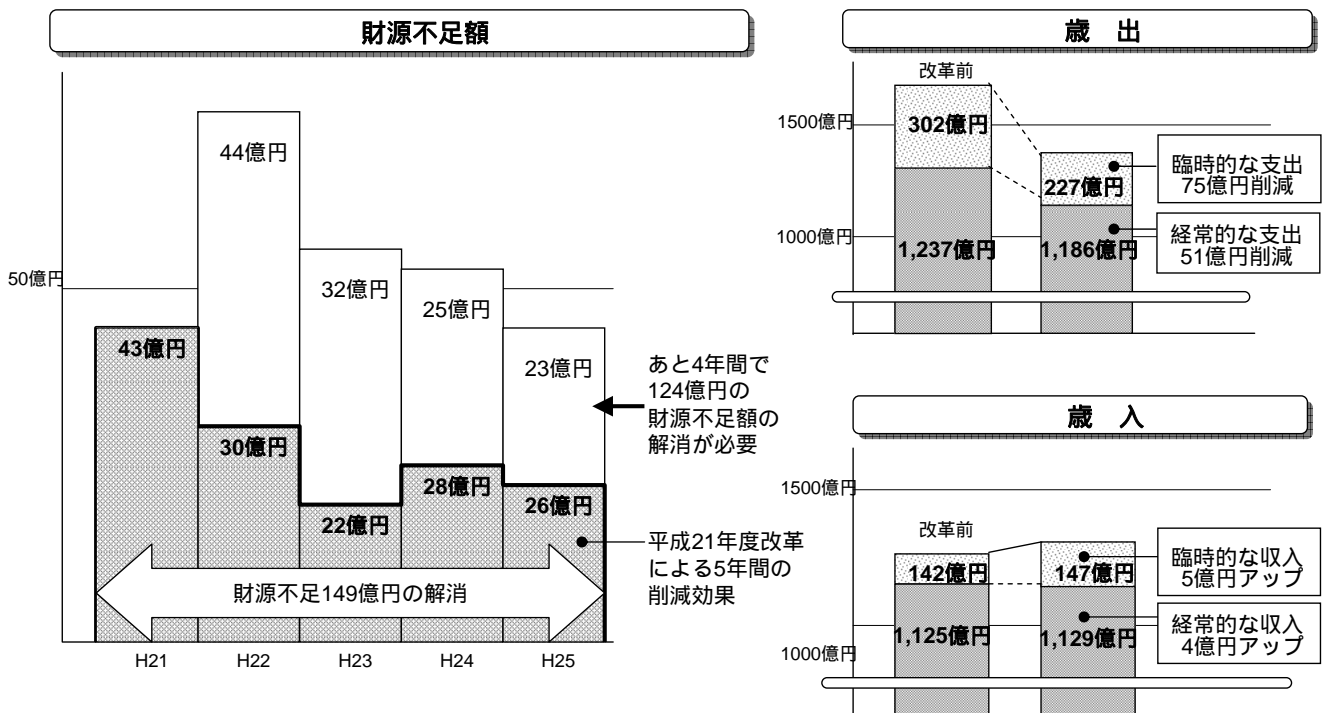
- 今後4年間で総額124億円の財源不足を解消
- 経常的な支出水準をさらに年間約10億円規模で圧縮

おわび：もみじだより6月号に、平成21年度当初予算による財源不足解消額を「121億円」と掲載しましたが、再計算したところ、「149億円」の誤りでした。そのため、今後4年間の解消目標は「124億円」となります。おわびして訂正いたします。

(2) 平成21年度の改革成果 (5年間計)

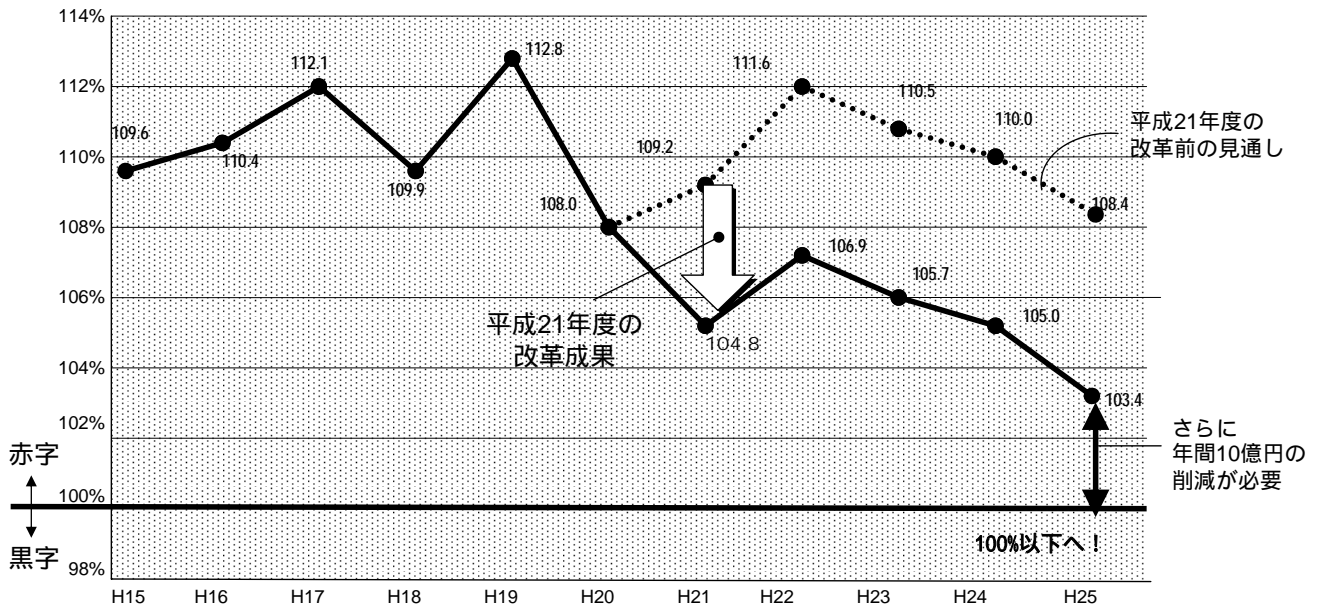
歳出改革で126億円削減、歳入改革で9億円改善し、その結果、今後5年間にわたる財源不足額を149億円* 解消しました。

* 歳入歳出改革の効果額134.5億円 + 予算編成段階での財政改善分14.4億円（基金投入含む）



(3) 経常収支比率の改善

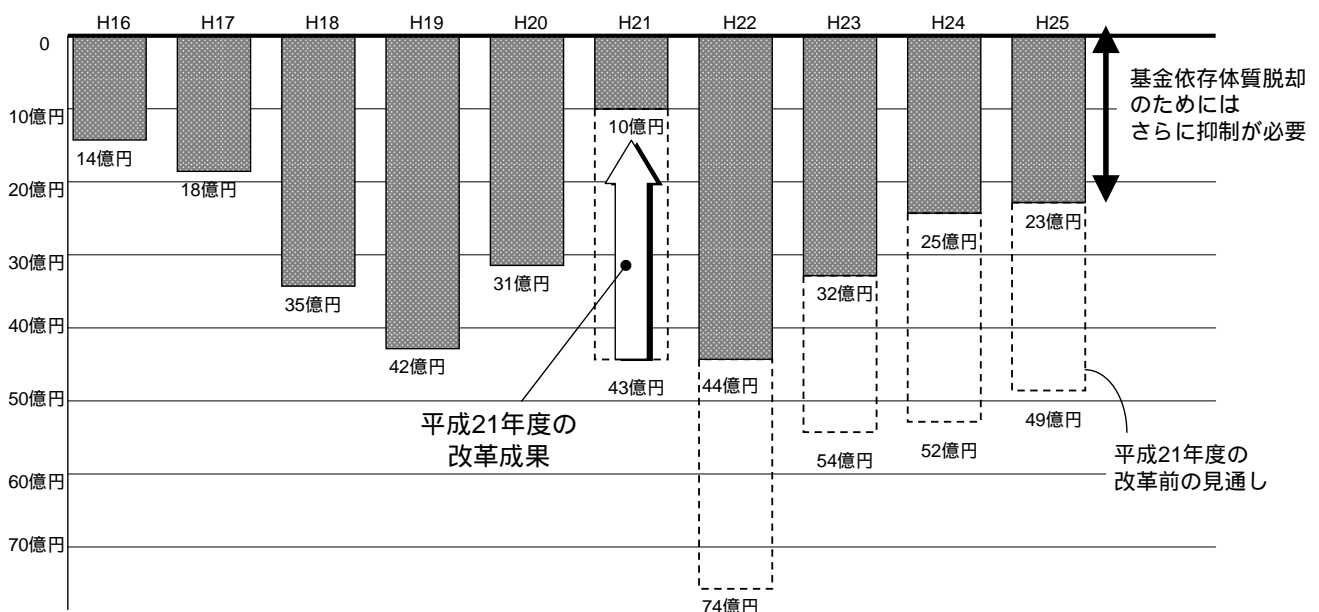
経常的な支出を経常的な収入でどれだけ賄えているかを示す「経常収支比率」は、平均 約4.5ポイント改善しました。



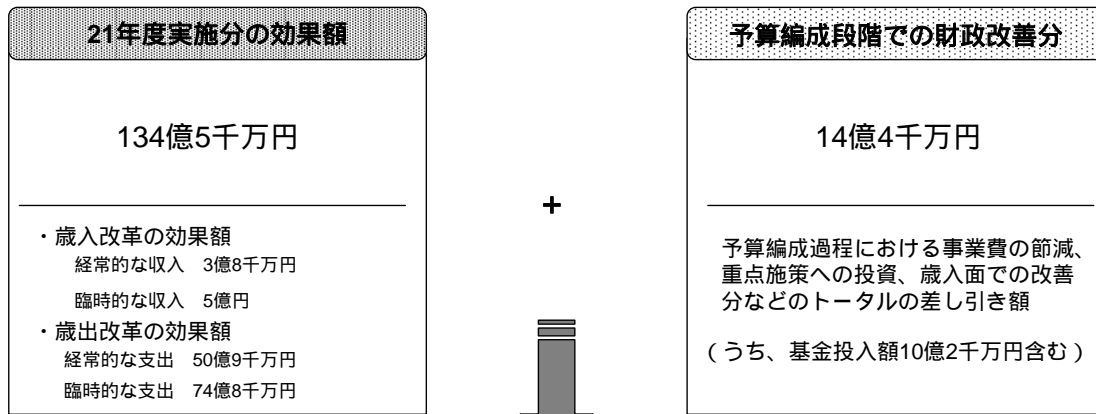
なお、平成21年度予算において、市の借金である「特例債」を含む経常収支比率は6年ぶりに100%を下回りました。

(4) 基金投入額の抑制

平成21年度予算で基金投入額（貯金の取り崩し）を33億円抑制し、その結果、今後5年間で149億円の抑制効果が見込まれます。



3.平成21年度改革成果の内訳



財源不足解消額の合計 149億円

改革番号 (別添資料「ゼロ試案の詳細」と連動)	改革項目 主な項目のみ挙げています。	効果額 (5年間の効果額) (改革を平成25年度まで実施した場合の5年間の効果額の合計)	改革前の事業費 (5年間合計)	改革後の事業費 (5年間合計)
凡例				
64	市立病院への税負担の抑制	27億4千万円	(42億円)	14億6千万円)

経常的な収入 小計 3億8千万円

2	滞納対策の強化	3億1千万円	(24億6千万円	27億8千万円)
ほか 7千万円				

臨時的な収入 小計 5億円

6	競艇事業収入	5億円	(25億円	30億円)
---	--------	-----	-------	-------

経常的な支出 小計 50億9千万円

1	人件費の見直し	18億7千万円		
7	職員等の給与カット等	18億2千万円	(494億6千万円	476億4千万円)
議員提案による議員報酬カットによる効果額：5千万円 (14億9千万円 14億4千万円)				
2	扶助費の見直し	1億1千万円		
9	福祉医療の食事療養費助成の廃止	9千万円	(1億円	1千万円)
10	はり・灸マッサージ施術助成の廃止	2千万円	(2千万円	0円)

3. 事務事業の見直し		1億6千万円	
18	青少年海外体験交流事業の休止	2千万円	(2千万円 0円)
(27)	在宅ケアセンター運営体制の見直し	2千万円	(1億9千万円 1億7千万円)
		ほか 1億2千万円	

4. 補助金の見直し		1億6千万円	
(38)	あかつき福祉会補助金の削減	6千万円	(1億8千万円 1億2千万円)
(39)	社会福祉協議会補助金の削減	7千万円	(5億3千万円 4億6千万円)
		ほか 3千万円	

5. 特定財源の確保		5千万円	
59	市営住宅の家賃改定	5千万円	(4億円 4億5千万円)

6. 企業会計等への操出の抑制		27億4千万円	
64	市立病院への税負担の抑制	27億4千万円	(42億円 14億6千万円)

臨時的な支出 小計 74億8千万円

1. 事業の見直し		35億4千万円	
65	公共施設改修経費の抑制	27億2千万円	(52億4千万円 25億2千万円)
68	彩都地区小中一貫校の建設費の圧縮	4億2千万円	(14億9千万円 10億7千万円)
		ほか 4億円	

2. 補助金の見直し		8千万円	
(76)	太陽光発電システム設置補助金の廃止	3千万円	(3千万円 0円)
77	箕面まつり開催補助金の削減	3千万円	(1億3千万円 1億円)
		ほか 2千万円	

3. 実施年度の調整		2億円	
83	避難所以外の施設の耐震工事の延期	1億5千万円	(15億9千万円 14億4千万円)
84	Nox規制以外の消防車両更新の延期	5千万円	(7億2千万円 6億7千万円)

4. 企業会計等への操出の抑制		36億6千万円	
85	国民健康保険への操出の抑制	30億円	(60億円 30億円)
86	上下水道事業会計への操出の廃止	2億5千万円	(2億5千万円 0円)
87	市立病院への税負担の抑制	4億2千万円	(23億5千万円 19億3千万円)

4. ゼロ試算ver.2の議論に向けて

Ver.1のうち結論を先送りした主な項目

保育料の見直し

障害福祉施策の見直し

現在、市民のみなさんからのご意見を参考に、各種団体との協議、市内部での調整を進めています。

Ver.2には、これらの項目を引き続き掲載しています。

- 現時点では、平成21年度当初予算の結果を反映した最新情報をお伝えしました。
- Ver.2は、結論の出た項目と、これからも議論を続ける項目を明確に分けて、今後の議論の的をしぼることを目的にしました。

子どもたちのための未来の箕面をつくりたい

子育てしやすさ日本一！
安心・支えあい最優先！
緑・住みやすさ最先端！



支えるべき財政の基礎を立て直す「緊急プラン」

実現するための方法を具体的な改革メニュー案で例示する「ゼロ試算」

- ゼロ試算は、議論のたたき台です。
- めざす未来の箕面を実現するという大きな目標を共有し、今後も、活発な議論をお願いします。

参 考 资 料

参考資料もくじ

- 参考1 意見募集でいただいたご意見について
- 参考2 これまでの行財政改革の取り組み
- 参考3 新市街地プロジェクトの概要
- 参考4 未来への第一歩 重点施策への投資（1）安心・支え合い最優先
- 参考5 未来への第一歩 重点施策への投資（2）子育てしやすさ日本一
- 参考6 未来への第一歩 重点施策への投資（3）緑・住みやすさ最先端

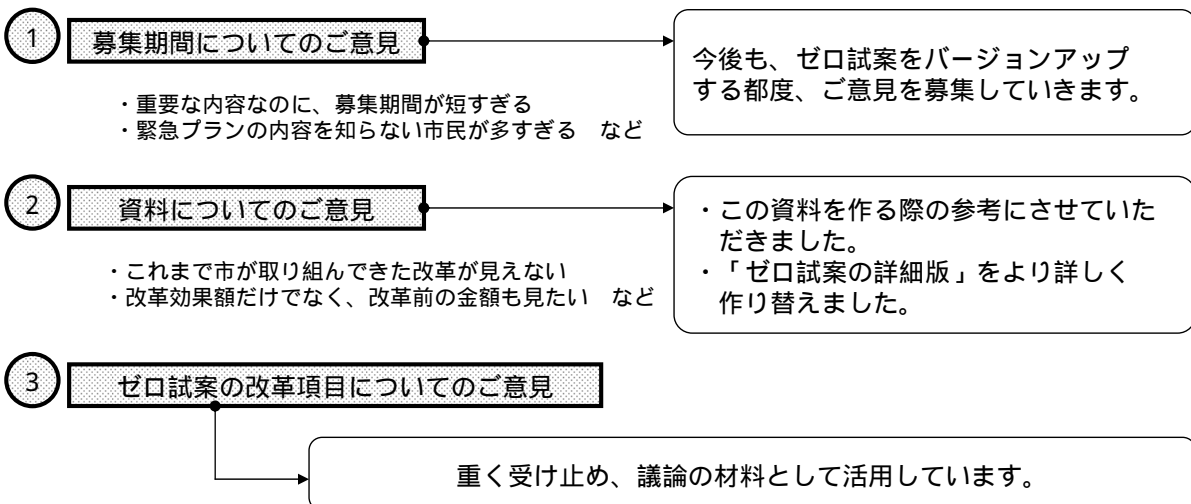
意見募集でいただいたご意見 について

参考1

意見募集

緊急プラン(素案)とゼロ試算ver.1に対して、市民のみなさんからたくさんのご意見をいただきました。

- ・募集期間：平成20年12月中旬～翌年1月中旬
- ・いただいたご意見数：528件
- ・ご意見に対する回答
ホームページや公共施設でご覧いただけます。

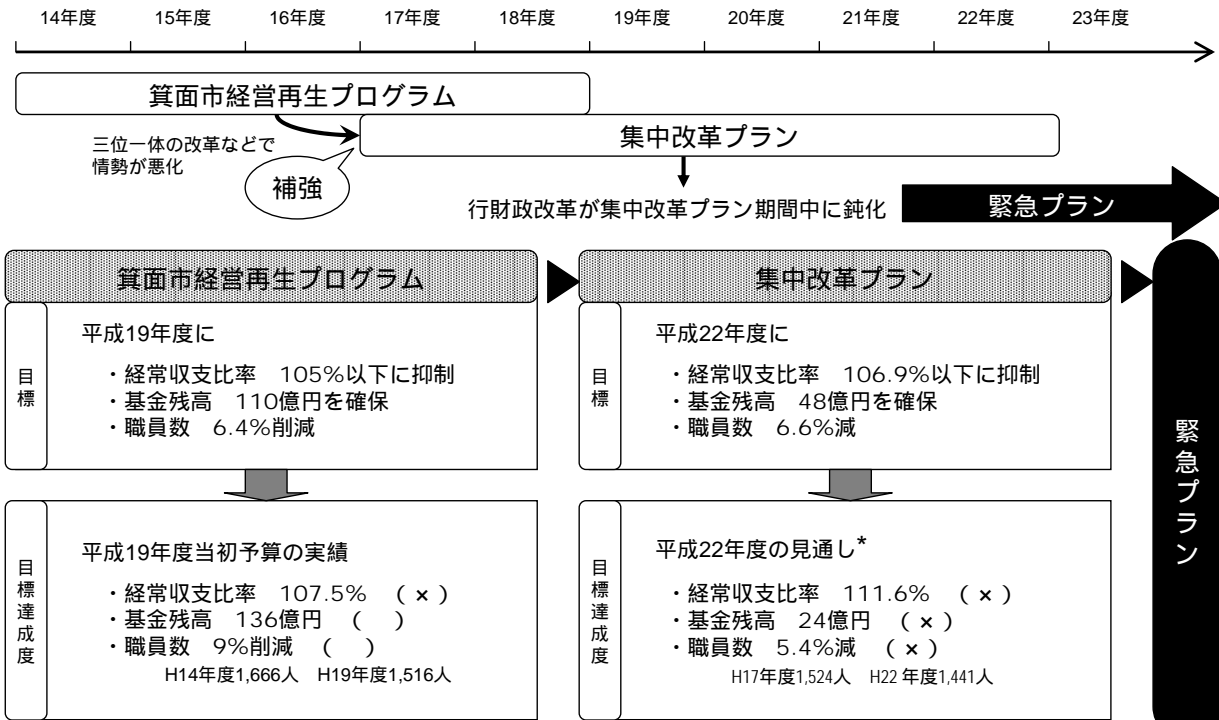


現在も議論を続けていますので、今回のゼロ試算ver.2には反映していません。

これまでの行財政改革の取り組み

参考2

箕面市では、平成8年度に行政改革大綱を策定し、財政改革に取り組んできました。14年度には経営再生プログラムを策定し、取り組みを強化しています。

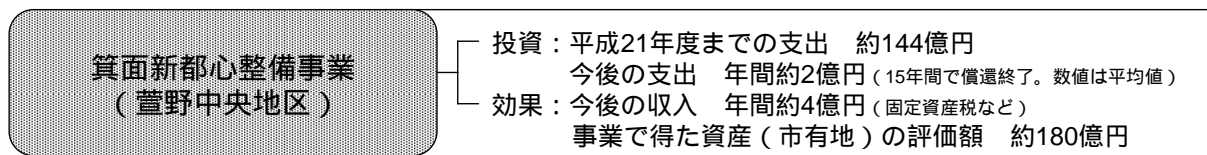


*平成22年度の財政見通しは、平成20年度2月時点、緊急プラン(素案)を実施しない場合

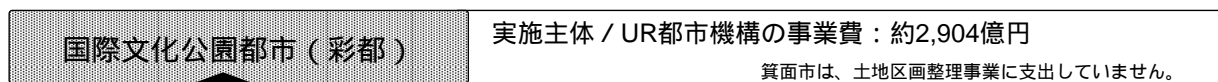
新市街地プロジェクトの概要

参考3

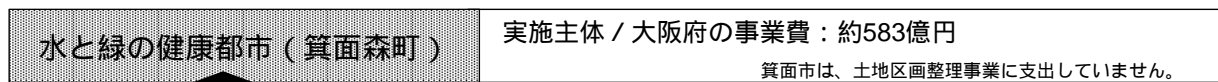
■ 箕面市が実施主体になっているもの



■ 箕面市が実施主体でないもの → 箕面市は、土地区画整理事業に支出していません。市は、生活に必要な学校や下水道整備を行います。



市の関連事業への支出(学校・下水道など)：平成21年度までの支出 約2億円
 今後の支出 年間約3.5億円 (35年間で償還終了。数値は平均値)
 市の税収による収入(固定資産税など)：今後の収入 年間約9億円(住民税を除く)



市の関連事業への支出(学校・下水道など)：平成21年度までの支出 約6億円
 今後の支出 年間約1.7億円 (31年間で償還終了。数値は平均値)
 市の税収による収入(固定資産税など)：今後の収入 年間約8億円(住民税を除く)

未来への第一歩 重点施策への投資（1）

参考4

平成21年度予算では、緊急プラン(素案)による削減だけでなく、重点施策の充実も行っています。

安心・支え合い最優先

公共施設の耐震化 2億7千万円

- ・避難所となる学校の耐震化を計画的に実施
- ・グリーンホールの耐震補強設計とエレベーター設置に着手

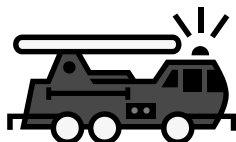
全小中学校のアスベスト対策の完了 1千7百万円

- ・法令改正に伴って厳しくなった基準に照らし、唯一基準値を超えた東小学校について対策を完了



消防力の充実強化 1億4千7百万円

- ・Nox規制、PM法の使用期限に伴い、消防車両5台を更新

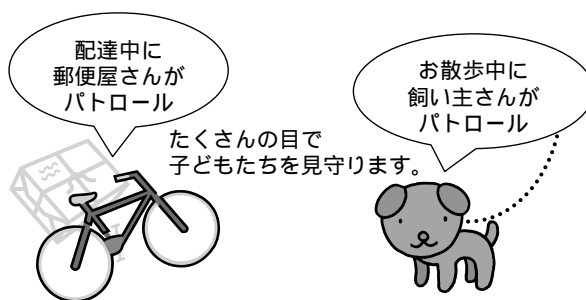


阪急牧落駅バリアフリー化 7千1百万円

- ・阪急牧落駅のエレベーター設置等に着手（阪急箕面線全線のバリアフリー化を完了）

支え合う地域活動の支援・促進 6百万円

- ・地域への補助金を統合・拡充して、地域の実情に応じて使い道を決められる「地域交付金」を創設
- ・子どもたちの見守りと地域の防犯力を高めるため、地域を巡回する企業や市民団体との連携を推進



未来への第一歩 重点施策への投資（2）

参考5

平成21年度予算では、緊急プラン(素案)による削減だけでなく、重点施策の充実も行いました。

子育てしやすさ日本一

未来子ども基金の創設 1億5千万円

- ・未来を担う子どもたちが健やかに成長するための事業を推進する新たな基金を創設

子育て世代への医療費支援の拡充 3億2百万円

- ・子どもの医療費助成の対象年齢を大幅に拡大し、所得制限も撤廃
- ・妊娠健康診査への助成を5回から14回に拡充



きめ細やかな子育て支援の充実 4百万円

- ・生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を保育士などが全戸訪問し、乳児と保護者をサポート



生徒指導の充実 4千万円

- ・市内の全中学校に、箕面市独自で生徒指導の支援講師配置完了
- ・小学校にも追加配置

学校施設の学習環境の向上 1億4千8百万円

- ・市内の全中学校のすべての普通教室にエアコン設置
- ・市内の全中学校のコンピュータ教室のすべてのコンピュータを更新



小中一貫教育の推進 3千1百万円

- ・森町に続き、彩都で施設一体型小中一貫校の建設に着手（大阪府では箕面だけ）
- ・その他の小中学校でも、校区連携型小中一貫教育を推進

未来への第一歩 重点施策への投資（3）

参考6

平成21年度予算では、緊急プラン(素案)による削減だけでなく、重点施策の充実も行いました。

緑・住みやすさ最先端

山なみ景観の保全・育成

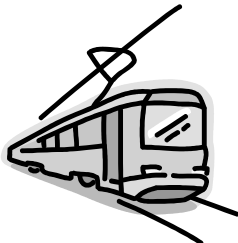
- ・住宅地に近接する山々について、箕面市独自の保全手法の具体的検討に着手

「（仮称）みどりファンド」の創設

- ・住宅地の緑を守り育てるための助成制度の検討に着手

北大阪急行の延伸 5千5百万円

- ・関係者との協議を加速
- ・鉄道延伸用の資金である「交通施設整備基金」への積み立てを15年ぶりに再開



市内バス路線網の充実に向けた取り組み 2百万円

- ・Mバスと路線バスとの連携・一体化を検討
平成22年度に社会実験を実施する準備に着手
- ・ノンステップバスの導入支援

北大阪急行延伸がもたらす まちの活気と利便性

新駅ができると・・・

駅と駅を結ぶ
バスネットワーク

東西を結ぶバス網の
整備が加速

徒歩圏が広がる

新駅周辺の活性化
船場が活気を取り戻す

CO2の削減

- ・混雑する新御堂筋線の渋滞解消
- ・自動車から電車・バスに乗り換え